

# 令和5年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<可茂地区> 八百津中学校・八百津東部中学校・八百津高等学校

## 1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

### (1) 連携型中高一貫教育の目標

「6年間を通して育てる・地域から学び、地域に貢献する人材の育成」～こつこつと学習に取り組み、まじめに生活を送る態度を育てる～

1. さらなる連携の推進 2. 確かな学力をつける 3. 生きる力を育む

### (2) 連携型中高一貫教育の令和5年度の重点

- ① 発達段階に応じたキャリア教育を進めるとともに、中学校2年生の職業体験と高校1年生のインターンシップを、高校でのデュアルシステムに繋げる工夫をさらに進める。
- ② チャレンジテストの充実を図るとともに、継続的な取組の成果を実感させる工夫を進める。
- ③ 杉原千畝学習を継続し、12年間に及ぶ人道学習を継続発展させる。

## 2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題
さらなる連携	キャリア教育の推進	<p>○今年度は中学校でも職場体験活動を実施することができた。八百津高校では1年生全員がインターンシップを、2年生の希望者20名は企業の協力で毎週木曜日にデュアル実習を実施することができた。</p> <p>○中学生体験入学、オープンキャンパスの際に「デュアルシステム説明会」を実施し、連携中学からは両日で19人が参加した。</p> <p>○デュアルシステム成果発表会に八百津中学校の1、2年生130名が参加した。その他に地域に効果的に伝える方法としてオンデマンド形式で配信を行った。</p>
	連携型入試の取組推進	<p>○チャレンジテストの継続的な取組、高校側による定期的なチェックと指導を行うことができた。</p> <p>○学力養成セミナーを2中学校それぞれを会場として実施できた。</p> <p>▲チャレンジテストの重要性の生徒・職員への周知徹底を図る。</p>
	相互理解の推進	<p>○連携中学校3年生体験入学やPTA見学会で連携中学卒業生による説明や交流を実施し、保護者から好評を得た。</p> <p>▲継続的で分かりやすい発信方法を模索する。交流活動(進路説明会、部活動やボランティア活動)を模索する。</p>



【デュアル実習風景】



【チャレンジテスト個別チェック】



【体験入学での交流会】

	<p>交流授業の充実</p>	<p>○高校の授業公開により高校生のつまづきを把握することで、中学段階で何に留意すべきか等について共通認識ができた。</p> <p>○T Tによる交流授業は生徒の実態把握がしやすく教える教師生徒双方に効果があった。</p> <p>○八百津東部中学校への出前授業の内容を高校での授業体験からキャリア教育中心の内容に変更して実施した。</p> <p>▲生徒の能動的な学びを引き出すT T指導の在り方、出前授業の内容について模索検討を図る。</p>	 <p>【T Tによる交流授業の様子】</p>
<p>確かな学力</p>	<p>6年間を見通した指導の充実</p>	<p>○夏休み中の3日間に、2中学校を会場にして、中高連携学力養成セミナーを実施した。</p> <p>▲学力養成セミナーの日程調整と参加者の増加策を検討する。</p>	 <p>【学力養成セミナーの様子】</p>
	<p>チャレンジテストの充実</p>	<p>○八百津高校教員が2中学校の高校説明会において、チャレンジテストの重要性（高校入試に向けた基礎学力の定着）を説明した。</p> <p>▲チャレンジテストの重要性について中学生及び保護者の方に理解していただけるような啓発活動を継続する。</p>	 <p>【チャレンジテスト趣旨説明】</p>
<p>生きる力</p>	<p>地域や異校種間連携の強化</p>	<p>○3年ぶりに開催された八百津祭において、八百津中学校生徒は地元の祭囃子で笛の奏者として、八百津高校の体育系の部活動生徒と有志は山車の曳き手として力を発揮し、地元より高評価を得た。</p>	 <p>【八百津祭りの山車の前で】</p>
	<p>人道教育の強化</p>	<p>○連携中学校出身者にとって杉原千畝は身近な存在である。しかし他の中学校出身者も多いので、イスラエル出身の方を講師に招いて、1年生全員に対して、杉原千畝についての学習を行った。</p> <p>▲人道教育での学びを日常の場面に落とし込める実践力の育成を図る。</p> <p>▲地域や行政との日常的な連携の維持・強化を図る。</p>	 <p>【ホロコーストの説明】</p>